保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: R3年4月15日

<u>事業所名:出会いの場 Leo 保護者等数(児童数)21名 回収数 11 割合52.3%</u>

| | <u>事業</u> | 所名:出会いの場 Leo | • | 保護者 | 寺致(| 児童致 | <u>) 21名 回収数</u> | <u>11 割合52.3%</u> |
|----------|-----------|---|----|---------------|-----|-------|---|--|
| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
| 環境・体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保 されているか | 11 | | | | ・畳があるのでとて もいいと思う。 | |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 8 | 1 | | 2 | ・散歩時にヘルプの 方も付いてくれるこ とがあり安心。 | 児童10人に対し指導員2 名という国の人員配置 基準以上の人員配置を 行い、児童分野での経 験を備えたスタッフを 配置しております。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化 された環境*1になっているか。また、障 がいの特性に応じ、事業所の設備等は、 バリアフリー化や情報伝達等への配慮が 適切になされているか | 11 | | | | ・遊ぶ場所・寝る場所・寝る場所・をなべかれているのででいて頂に何をすいとのかりやすいと思いるのかりですと思いるのがものがあるのかがりです。 | 建物の構造上、段差の ある場所に関しては職 員が介助し、安全に努 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる 環境になっているか。また、子ども達の 活動に合わせた空間となっているか | 11 | | | | ・子どもたちが楽し く遊べる雰囲気に なっていると思う。 | 毎の清掃、清明 では、 |
| 適切な支援の提供 | 5 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的 に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか | 10 | | | 1 | ・計画書を見た記憶がない。 | 計画書の説明を丁寧に行うよう努めます。 |
| | 6 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 10 | | | 1 | | |
| | 7 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか | 10 | | | 1 | ・食べる物の好き嫌いが多く悩んでいた がLeoでは食べられる 物が増えて嬉しい。 | |
| | 8 | <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないようエ 夫されているか | 8 | 1 | | 2 | | 午前中は戸外活動を中心に、交通ルールを援いして、 で通りに支援しています。毎日活動を変えて、色々な体験が出来る様にしています。 |
| | 9 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交 流や、障がいのない子どもと活動する機 会があるか | 10 | | | 4 | ・通い始めたばかり で分からない。 | 事業所としてのの す等の実績はありとの が、保育園等とのに対しての が、はないでは がされるののでは がされるののでは ではますで ではますで ではまずで ではまずで ではまずで でいますで でいますで でいますで でいますで でいますで でいますで でいますで でいますで でいますで でいますで でいますで でいますで でいままで でいますで でいますで でいます。 はいますで でいますで でいます。 でいます。 でいます。 でいままで でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいまる。 でいまる。 でいまる。 でいまる。 でいまる。 でいまる。 でいまる。 でいまる。 でいまる。 でい。 でいる。 |
| | 10 | 運営規定、利用者負担等について丁寧な 説明がなされたか | 11 | | | | | 契約時に説明を行って おります。今後も周知 に努めます。 |

| 保護者への説明等 | 11 | 児里先達又援ガイトラインの「児里先達 支援の提供すべき支援」のねらい及び支 援内容と、これに基づき作成された「児 童発達支援計画」を示しながら支援内容 の説明がなされたか | 9 | | 2 | | |
|----------|----|---|----|---|---|--|---|
| | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム(<u>ペ</u> <u>アレント・トレーニング*4</u> 等)が行われ ているか | 8 | 1 | 2 | | 現在ペレンでは、 |
| | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題に ついて共通理解ができているか | 11 | | | ・連絡帳の他、送迎 時に情報の共有が図 れている。 | 希望される場合は、相 談を受け付けておりま す。 |
| | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児 に関する助言等の支援が行われているか | 11 | | | ・保護者に対しての 支援も手厚く素晴ら しい施設だと思う。 | 送迎時に一日の様子を 詳しく伝える様に努め ています。 |
| | | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援さ れているか | 10 | | 1 | | 毎月保護者会をする予のにない。 はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい |
| | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 10 | | 1 | ・相談に対して忙し い時でも丁寧に対応 を教えてくれる。 ・いつも | 相談体制について、周 知に努めて行くと共 に、より良い方法を保 護者と一緒に検討して 行きます。 |
| | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮がなされているか | 11 | | | ・相談に対して忙し い時でも丁寧に対応 を教えてくれる。 | |
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動 概要や行事予定、連絡体制等の情報や業 務に関する自己評価の結果を子どもや保 護者に対して発信されているか | 11 | | | | 毎月お便りを発行して おります。またお知ら せなどをメールで配信 しています。 |
| | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されてい るか | 10 | 1 | | ・時々違うお子さん んの書類が入ってい た。 | 個人情報が記載された 書類は鍵付き棚に保管 しております。 今後書類の入れ間違い のない様に致します。 |
| | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、 発生を想定した訓練が実施されている | 8 | | 3 | ・通い始めたばかり で分からない。 | 各種マニュアルの説 明・周知に努めます。 |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練が行われている か | 8 | | 3 | | 消火避難訓練、不審者 対応、地震時の対応 等、月に1度職員と子ど も達で実施しておりま す。 |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 11 | | | ・楽しみにしていて よく歌を歌う様に なった。 | 子ども達が安心して楽 しく通える事業所とな るよう職員一同で目指 |
| | 23 | 事業所の支援に満足しているか | 11 | | | ・とても満足してい る。 | は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 |

^{*1} この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

- *2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- *3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- *4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。